

甲府西高 3年次だより



共通テスト出願状況発表!!

気になる第2日程の受験者は全国で789名

先日大学入試センターより、令和3年度大学入学共通テストの出願状況が発表されました。それによると、**出願総数は535,244人で、昨年度の約96%の出願**となっています。内訳をみると**現役生は449,789人で昨年度の99%の出願**であるのに対し、いわゆる浪人生の出願は**85,455人で昨年度の81%の出願**にとどまっています。これは前年度入試で新入試を避ける安全志向が働いて、浪人を選択する受験生が少なかったからだと考えられます。一方、現役生の出願状況を見ると出願総数こそ減少しているものの、上智大・青山学院大など私立大学で新たに共通テスト利用方式を新設・拡大する大学も多く、**志望動向でも共通テスト利用方式の志望者数が増加傾向を示している**ことから、例年以上に共通テストの利用意向は高まっており**現役生全体に占める共通テスト志願率(受験率)は上昇するもの**と予想されます。

新型コロナウイルスの第2波の影響がじわじわと押し寄せるなか、インフルエンザなどその他の感染症も流行りだすのが冬場の受験シーズンであることを考えると、**今年度は例年以上に共通テストの重要性が高まって**くるでしょう。そこで気になる全国の第1日程、第2日程志願者数ですが、なんと**第2日程の志願者は789名(全体の0.15%)**に過ぎませんでした。つまり共通テストについては ①**全国の受験生も西高生と同じく勝負は来年1月16・17日である。** ②**例年に比べ浪人生が少ないため、現役生同士の争いとなる。** ということが言えるでしょう。また、第2日程の受験者の数からみて、それによる共通テストリサーチ(全国の受験生の得点状況や国公立大学への志願状況をリサーチするもの)への影響はまずないと見て取れるため、第2日程受験者の動向に左右されずいつも通りの国公立大学への出願検討が行えます。以上のことから考えて、**みんなはまずは1月16日・17日にターゲットを据えて、残りの日々を計画的に学習していくことが大切**です。

共通テストまで残り75日、現役生は最後まで伸びます。Never Give Up! 西高生

保護者のみなさまへ

■オンライン大学入試セミナー 【11/28(土)】開催の案内

大学入学共通テストまで2か月余りとなり、いよいよ本格的な入試シーズンが迫ってきました。本校でも最新の入試動向に目を配りながら、お子様の指導を進めているところではありますが、今年度は大学入学共通テストの導入や大学入試改革を踏まえた各大学における入試形態の変更などに加え、新型コロナウイルスの影響もあって受験環境が大きく変化しております。そのため、例年以上に第一志望校や併願校の検討、また受験方式の確認を十分に行う必要があります。そこで最新の入試動向等について、御家庭でも確認できるような情報サイトをご案内します。

◆「オンライン大学入試セミナー」 <https://benesse.jp/kyouiku/kyouikukaikaku/seminar/kou/8area/>
提供企業：ベネッセコーポレーション



●講座名：「最新入試情報を踏まえた秋からの合格戦略」(※上記 Web ページの下方からご視聴可能)

【内容の紹介】 高3秋からの合格戦略や最新の志望動向を踏まえた受験戦略をお伝えします。

*北海道・東北・関東・北信越・東海・関西・中国四国・九州沖縄の8エリア別に主要大学の最新入試情報と受験戦略について

*新型コロナウイルスの影響による大学別入試変更情報、大学入学共通テスト変更情報、科目別目標得点設定による学習戦略等について

*志望校に合格した先輩大学生によるリアルな受験戦略、成功体験や失敗体験を踏まえた学習の秘訣について

【11月の行事予定】 今月から冬時間、最終下校時間は18:30となります。

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	日		16	月	B きずなの日、生徒総会、第3回定期試験時間割発表
2	月	B 冬服期間(～4/30) 第2回生活実態調査 大学別オープン模試	17	火	B
3	火	文化の日、大学別オープン模試	18	水	B 第4回マナーアップ運動
4	水	B	19	木	B
5	木	B	20	金	県民の日
6	金	B	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	勤労感謝の日
9	月	A あいさつ運動(～13日)	24	火	第3回定期試験
10	火	A	25	水	第3回定期試験
11	水	A 古本バザー	26	木	第3回定期試験
12	木	A 古本バザー	27	金	第3回定期試験、全統プレテスト
13	金	A ストップ点検、生徒協議会	28	土	全統プレテスト
14	土		29	日	
15	日		30	月	A きずなの日

■3年次に新たに所属した先生方からの寄稿

第3回は、1組副担任の風間先生です。

「だからこそ」

1組副担任 風間 富美子

この4月より秋山学年の仲間入りをして、はや6か月。あれよあれよという間に秋風の吹く季節となりました。早いものです。せっかくみなさんと初めての出会いだったのにお互いマスクで顔を覆ってしまって、見えるのは目だけ。初めて顔の全体像が見られるのは卒業アルバムなのかな、なんて思っています。異例尽くしの2020年。様々な場面でその時々で事情に合わせた対応が求められ、今まで当たり前でできていたことを一つ一つ「これをしていいのか？」と立ち止まって考えてみなければならず、みんなとの関わり方も随分変わりました。英語の授業で言えば、本来ならペアやグループになって意見交換を行うべきところなのに、今年は避けるのが望ましい、という大転換。みんなには、一方的な授業が増えてしまって本当に申し訳ない限りです。

初めて尽くしの2020年。みんなは、これから、今までのどの先輩も経験したことのない受験に臨みます。ただでさえ共通テスト初年度の年回りだったのに、加えてコロナ、ですものね。去年まで思い描いていたものとはかなり違いますよね。ついてないなあ、と思う人もいるかもしれません。

「だからこそ」という言葉があります。困難な状況にあるときに、それをネガティブにとらえるのではなくむしろチャンスととらえ、後にそれがあったからこそ今の自分がある、というふうに考えることです。今は不安やモヤモヤした気持ちがあっても、それを乗り越えて「あの時期があったからこそ、成長できた」と思えるようになってほしいと思います。そのために、この時期にしか経験できないことに前向きに取り組んでいきましょう。この時代に高校3年生だったみんなにしか見られない世界がきっとあります。乗り越えた先にある新しい世界を心待ちにしながら、今を大切にしていきましょう。

コロナで、何か変わったことがありますか？私は、家庭菜園を始めました。野菜栽培なんて全く興味がなかったのに、今は草取りが楽しい野菜の成長をみるのが楽しいという大転換。自分でもびっくりです。先日、カリフラワー、ブロッコリー、春菊、キャベツを植えました。おいしい野菜に育ってくれるのが待ち遠しいこの頃です。

